

**【表紙】**

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成29年1月30日
【会社名】	株式会社アクロディア
【英訳名】	Acrodea, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 堤 純也
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区恵比寿一丁目20番22号
【電話番号】	03-5793-1300（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役副社長 國吉 芳夫
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区恵比寿一丁目20番22号
【電話番号】	03-5793-1300（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役副社長 國吉 芳夫
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 1【提出理由】

当社は、平成29年1月30日開催の取締役会において、株式会社渋谷肉横丁（以下、「渋谷肉横丁」という。）の株式を取得し子会社化することを決議しましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第8号の2の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

## 2【報告内容】

### （1）取得対象子会社に関する事項

商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号	株式会社渋谷肉横丁
本店の所在地	東京都渋谷区宇田川町36-2
代表者の氏名	代表取締役 國吉 芳夫 代表取締役 塩田 直彦（平成29年1月23日就任）
資本金の額	10百万円（平成29年1月16日現在）
純資産の額	現時点においては未定
総資産の額	現時点においては未定
事業の内容	不動産のサブリース、売買、賃貸、管理及び仲介、飲食店の経営等

（注）純資産の額及び総資産の額は、2月末の当該会社の株式取得日までに確定する予定です。

最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

平成29年1月16日に設立のため、該当事項はありません。

なお、参考数値として、渋谷肉横丁設立前に当該事業を行っていた株式会社プロキューブ（東京都渋谷区宇田川町36-2、代表取締役 塩田直彦、以下、「プロキューブ」という。）及びゼクシンク株式会社（東京都品川区小山1-8-8、代表取締役 鳥居厚志、以下、「ゼクシンク」という。）における当該事業の業績概要は以下のとおりです。

プロキューブ（平成27年8月期）

売上高 149百万円  
営業利益 27百万円

プロキューブ（平成28年8月期における平成27年9月から平成28年6月の事業業績）

売上高 199百万円  
営業利益 41百万円

ゼクシンク（平成29年2月期における平成28年7月から平成28年11月の事業実績）

売上高 146百万円  
営業利益 24百万円

提出会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係 取得対象子会社の主要株主である田邊勝己氏は、本日提出の有価証券届出書に記載の第三者割当の割当予定先であり、当該第三者割当により当社の大株主になる予定です。

人的関係 当社取締役副社長 國吉芳夫が取得対象子会社の代表取締役に就任しております。

取引関係 当社と取得対象子会社との間には、記載すべき資本関係はありません。

### （2）取得対象会社に関する子会社取得の目的

当社グループは、インターネット技術を生かしたスマートフォン向けサービスを実現する基盤技術（プラットフォーム）の提供やコンテンツサービス（スマートフォン向けアプリやソーシャルゲームの提供）を主な事業とし、第4次産業革命とも言われるIoT関連技術の中長期的な市場成長を見込みインターホン向けIoTシステムや動画関連サービス、また子会社が行うインターネット社会に不可欠なセキュリティ関連事業等を展開し、インターネット関連事業を中心に安定的な収益確保と中長期的な成長に向けた事業基盤の確立を図っております。

しかしながら、当社は、継続して純損失を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在し、早期の黒字化に向け抜本的な対策を講じる必要があると認識しております。

当社グループの既存のソリューションやソーシャルゲーム等のコンテンツによる事業展開だけでは、その成長速度に限界があり、十分な成長が望めない可能性があります。より成長の速度を上げ早期の黒字化を達成し、高水準の利益を実現していくためには、当社グループの事業分野とシナジー効果のある事業の取得を積極的に進めていくことが不可欠であると考えております。

この度取得予定の渋谷肉横丁が実施する予定の事業は、若者が集まる「渋谷センター街」という好立地を生かし、年間約40万人が来店する事業であり、当社はこの来店者数を当社の得意とするIT技術に結びつけ、若者向けゲーム事業での集客基盤として活用を図るほか、実店舗を集めたオフラインの場である「肉横丁」にオンラインの

「インターネット」を結びつけて効果的なマーケティングを行う020や店舗内にセンサを設置してIoT利用の集客を推進していくなど新たな事業展開をすることにより、当社の事業とシナジー効果を発揮できると考えております。

当社は当社グループの業容を新たな市場に拡げ、収益を確保するため、渋谷肉横丁の株式を取得し、子会社化するための基本合意書を締結することを本日開催の当社取締役会にて決議いたしました。本日提出しました第三者割当による新株式及び新株予約権の発行に係る有価証券届出書のとおり、当社は、本件第三者割当の調達資金により、平成29年2月末日に渋谷肉横丁の株式を取得し、完全子会社化する予定です。

当社グループでは、既存事業の展開を市場動向に合わせ機動的に進めていくと同時に、新たな事業の取得を積極的に進めていくことが、当社の今後の発展に大きく寄与するものであるため、渋谷肉横丁の株式を取得し子会社化することとしました。

(3) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

株式会社渋谷肉横丁の普通株式（議決権所有割合100%）	574百万円
アドバイザリー費用等（概算額）	2百万円
合計	576百万円

以 上